

第2回流総計画再構築検討会

流総指針改定に関する論点と対応方針

平成26年1月

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1. 論点と対応方針

論点	対応方針
論点1 目標の多様化	季別目標等、環境基準と併せた目標設定を可能とする。
論点2 柔軟性を持たせた計画の導入	予測負荷量等の幅はもたせない。(必須) 計画期間は「概ね」の年間とする。(必須)
論点3 作業の簡略化	既往流総成果や統計資料の活用による簡略化を可能とする。
論点4 エネルギー消費量の考慮	省エネ化の推進等のため、エネルギー消費量について考慮することとする。(必須)
論点5 エネルギーポテンシャルの算定	エネルギー有効利用推進のため、下水がもつエネルギーポテンシャルの算定を行うこととする。(必須)
論点6 中期整備計画	下水道整備の優先順位検討により、5～10年後に当面優先すべき事項を設定することとする。(必須)